

第 2 期生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

[令和 2（2020）年度－令和 6（2024）年度]

令和●年●月

生 駒 市

目次

第1章 基本的考え方	1
1. 計画の位置づけ	1
2. 計画期間	1
3. 推進体制	2
第2章 人口ビジョンと今後の取組の方向性	3
1. 人口ビジョン	3
(1) 人口動向	3
(2) 将来推計人口	3
(3) 人口の将来展望	3
2. 課題と今後の取組の方向性	5
(1) 人口動向から導き出される課題	5
(2) 取組の方向性	6
第3章 基本目標	7
基本目標1 子育てしやすいまち	7
基本目標2 働き盛り世代が希望のしごとをできるまち	7
基本目標3 働き盛り世代が住みたいまち	7
第4章 総合戦略の施策体系	8
第5章 基本目標に基づく施策	9
1-1-1: 出産に対する経済的支援	11
1-1-2: 産前産後ケアの充実	13
1-2-1: 保育園の新設・機能強化	14
1-2-2: 幼稚園の保育機能の充実	16
1-2-3: 学童保育の機能強化	17
1-3-1: 教育環境の充実	18
1-4-1: 子育て世帯を応援する情報提供の推進	20
1-4-2: 子育て世帯の交流促進	21
1-4-3: 地域で子育てを見守る体制の強化	22
1-5-1: 災害・犯罪等に対する安全性の向上	23

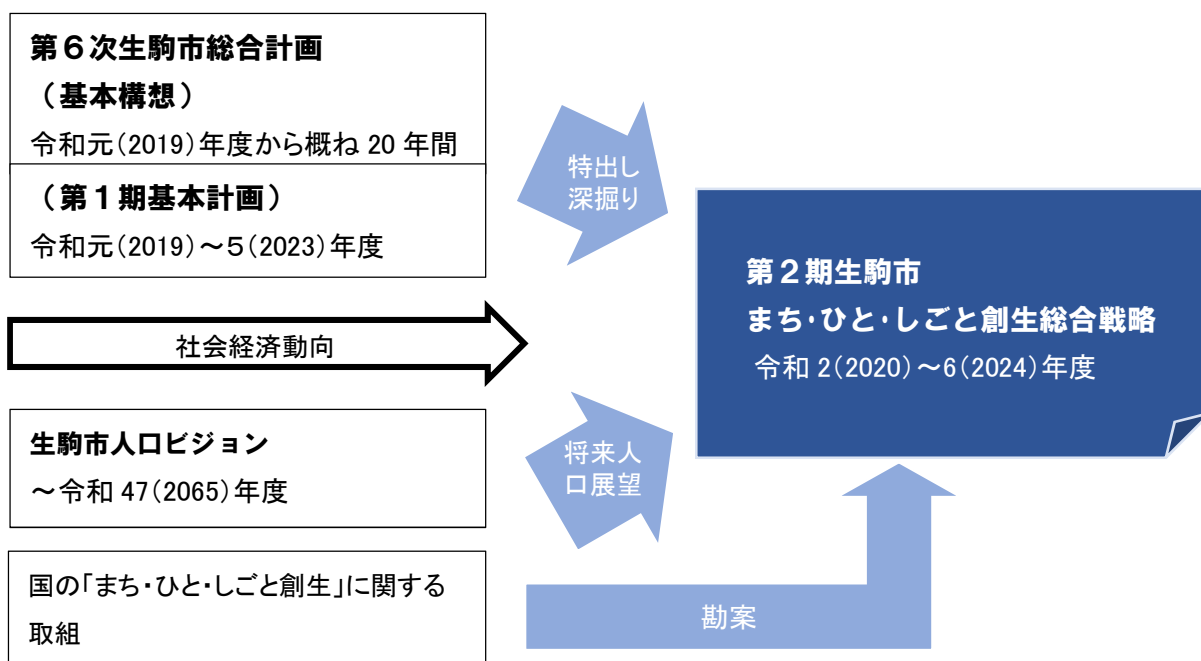
2-1-1:働き方をめぐる環境の変化に応じたワーク・ライフ・バランスの実現.....	26
2-2-1:市内産業の活性化.....	29
2-2-2:起業に対するきめ細かな支援.....	30
2-3-1:子育て支援に関する事業活動の創出.....	32
2-3-2:介護・福祉分野における事業活動の創出.....	34
2-3-3:食に関する地域産業の創出.....	35
3-1-1:まちの魅力発信や観光・交流の促進による交流人口の拡大.....	38
3-1-2:多様な住まい方・暮らし方の推進による流入人口の促進.....	40
3-2-1:都市ブランド形成による「ファン層」の拡大.....	42
3-2-2:協働イベントの開催による楽しく娛樂のあるまちの創出.....	44
3-2-3:文化芸術活動やスポーツ活動への参画機会の創出による郷土愛やシビックプライドの醸成.....	45

第1章 基本的考え方

1. 計画の位置づけ

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下「総合戦略」という。）は、国が定めた「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」及び「生駒市人口ビジョン」を勘案し、本市の「まち・ひと・しごと創生」に向けた目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたものです。

本市では、令和元（2019）年度から概ね20年間を計画期間とする第6次生駒市総合計画により、まちづくりの基本的な考え方や目指すべき将来像、計画期間内における施策を基本構想の中で体系的に示しています。総合戦略は、第6次生駒市総合計画が掲げるまちづくりの基本的な考え方や将来像などの市としての普遍的な方向性や、第6次生駒市総合計画第1期基本計画に位置づけられた施策との整合にも留意しつつ、本市を取り巻く社会経済動向や、人口動向に係る主要課題を捉え、施策を講じるターゲットを明確にしながら、官民による具体的な取組を定めるものです。



2. 計画期間

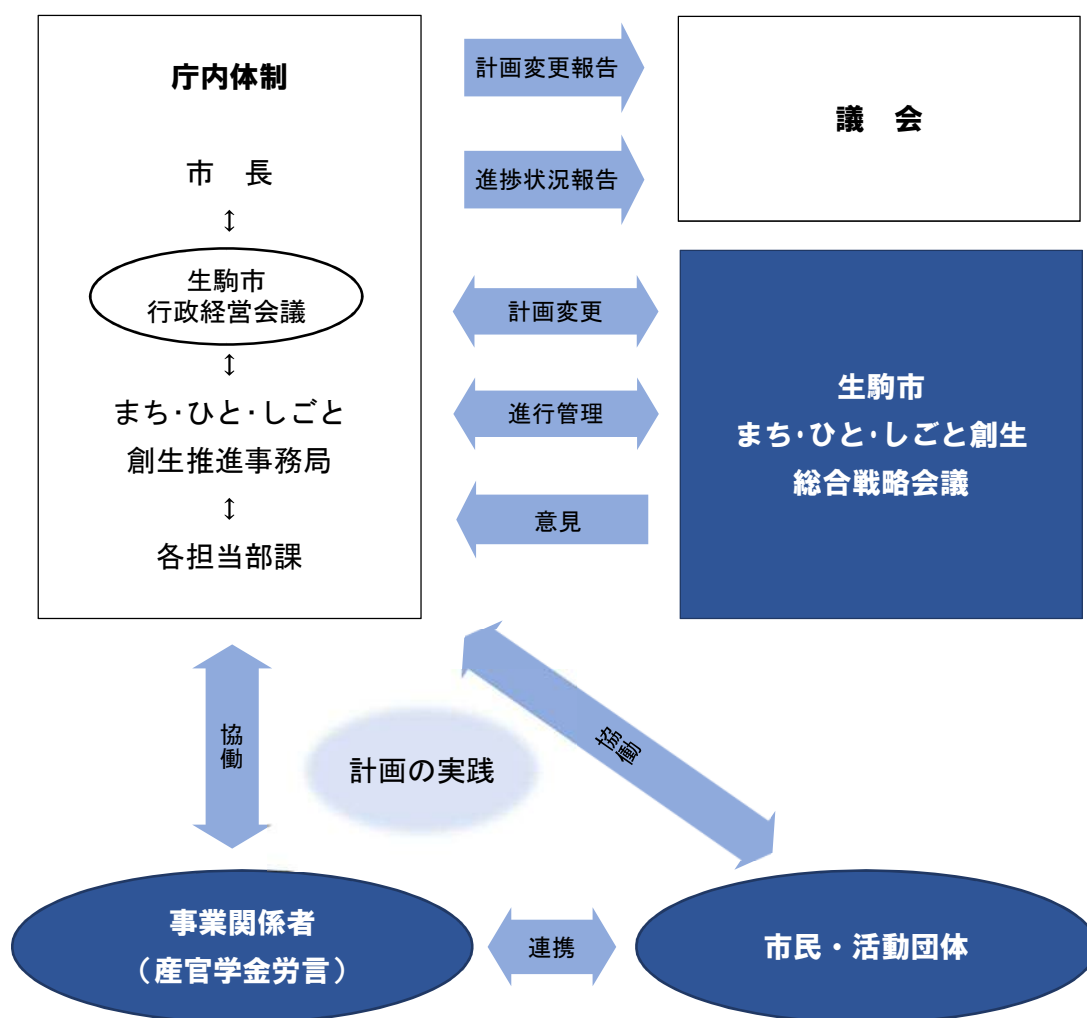
総合戦略の計画期間は、令和2（2020）年度から令和6（2024）年度までの5年間とします。

3. 推進体制

総合戦略を策定するため、人口動向や雇用に関する分析を行うとともに、各種団体・事業者等における有識者によって構成する「生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議を開催し、意見交換を行いました。

総合戦略は、計画期間内において確実な成果を達成するため、状況変化に応じて柔軟に事業内容を見直し、関係する全ての主体がそれぞれの役割を發揮しながら取組を進めていく必要があります。

そこで、行政の執行部門と地域の事業関係主体とが、協働により PDCA サイクルを実践することが可能となるよう、各担当部課が進捗状況を「生駒市行政経営会議」に報告し、「生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」の意見を得ながら、「生駒市行政経営会議」において、計画の進捗状況を検証し、柔軟に事業の見直しや追加等の計画変更を実施していくものとします。



第2章 人口ビジョンと今後の取組の方向性

1. 人口ビジョン

(1) 人口動向

生駒市はこれまで、自然増、社会増と両方が増加することで大きく人口が増加してきました。

自然動態では、出生数が死亡数を上回り、「自然増」を続けてきたものの、近年は出生数が下降傾向となっている一方で死亡数が増加し、死亡数が出生数を上回り、減少傾向となっている状況にあります。合計特殊出生率は微増傾向となっていますが、2015年で1.34（翌年1月1日現在の住民基本台帳をもとに市で独自に算出）と、奈良県の1.38を下回っています。しかしながら、内閣府の調査によると「未婚者の希望子ども数」は2.02人、「既婚者の理想子ども数」は2.32人となっており、合計特殊出生率の数を上回っています。また、結婚に関する意識調査によると、結婚に必要な状況として、「経済的に余裕ができること」が42.4%と最も大きくなっており、さらに、理想の子ども数を持たない要因として意識調査によると「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が56.3%と最も大きくなっており、その他「年齢的な理由で難しい」が17.3%となっています。こうした状況は、結婚や出産に対する社会的な経済措置に対する不安が解消できていないことや、女性の高学歴化に伴う晩婚化・晩産化が進んでいることが背景になっていると考えられます。

一方、社会動態では、転入が転出を上回り、「社会増」を続けてきたものの、近年は転出が転入を上回る、社会減少傾向となっています。転入では、30歳代とその子どもに当たる世代の15歳未満が転入超過となっており、転出では10歳代後半～20歳代後半が転出超過となっています。これは、大学進学や就職によって若者が転出する一方で、生駒市の住宅環境や通勤等の利便性を求めて子育て世帯が転入していることによるものと考えられます。

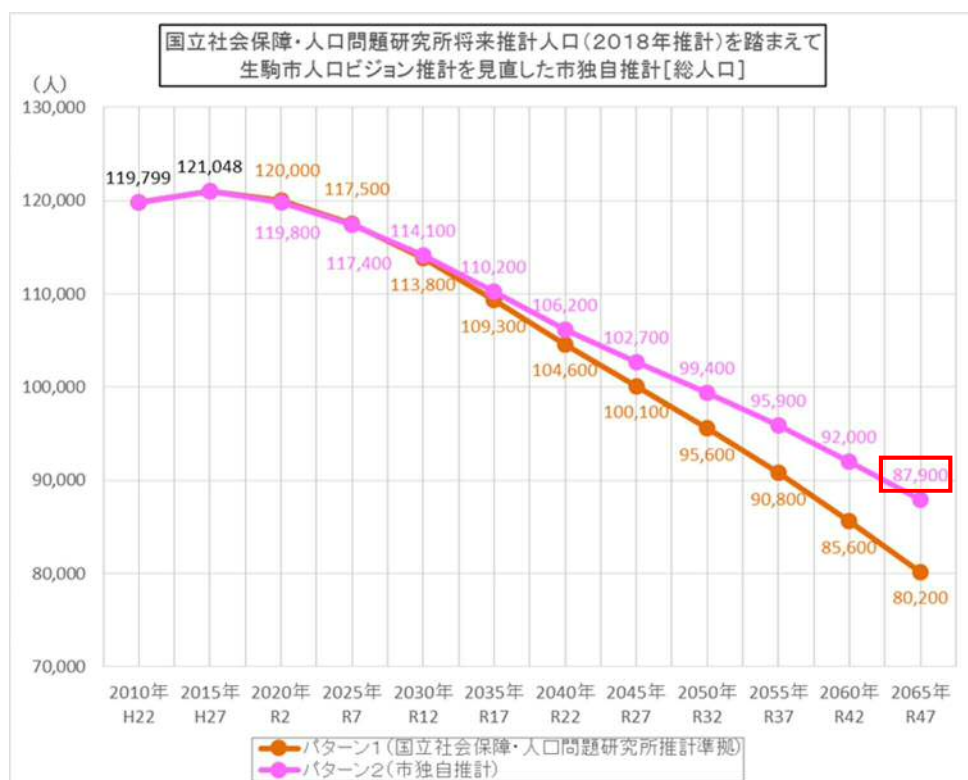
(2) 将来推計人口

「まち・ひと・しごと創生本部事務局」で提示されている国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）による出生率と移動率を用いた推計では長期的には将来人口は減少し、2050年には9万5,000人程度、2065年には8万人程度となる見通しとなっています。そこで、市の社会動態の特性や直近の年齢別人口、国の人口ビジョンを踏まえた出生率を用いて独自に仮定値を設定し、本市の将来人口がどのように変化するかを独自に推計しました。

その結果、2010～2015年に観察された本市の移動率を維持しつつ、出生率が上昇するよう取組を進めると、人口は2050年に10万人程度、2065年には9万人弱程度を維持できる見通しとなっています。また、自然増減と社会増減が人口に与える影響度を把握するため、比較シミュレーションを行ったところ、自然増減、社会増減の影響が同程度であることが判明しました。そこで、市独自推計の条件として、出生率を国の長期ビジョンでの想定と同様に上昇させると想定し、「出生率を5年で0.1上昇させ、2055年に2.06に到達する（2060年には人口置換水準2.07）」という仮定にて推計を行いました。

(3) 人口の将来展望

独自推計による将来推計人口では、2020年以降本格的に人口減少が進み、その後も一貫して減少を続けるものの、2065年においても9万人弱程度（約8万7,900人）を維持する見通しとなります。



< 仮定 >

パターン	合計特殊出生率	移動率	内容
パターン1	2020～2045年は国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)の値とし、その後は同水準で推移すると仮定	2010～2015年に観察された本市の移動傾向が2045年まで継続し、その後同水準で推移すると仮定	社人研の推計準拠
パターン2	人口動態・保健所市町村別統計の数値 2015年 1.26(2008年～2012年)を基に、国の長期ビジョンの上昇率に準拠し、5年で出生率 0.1 上昇し、2055年に 2.06 まで上昇すると仮定(2060年に 2.07)	基本的にはパターン1と同様とするものの、30代、40代前半については、本市の特性である流入傾向が継続すると仮定	市独自推計

図 パターン別の推計人口

2. 課題と今後の取組の方向性

(1) 人口動向から導き出される課題

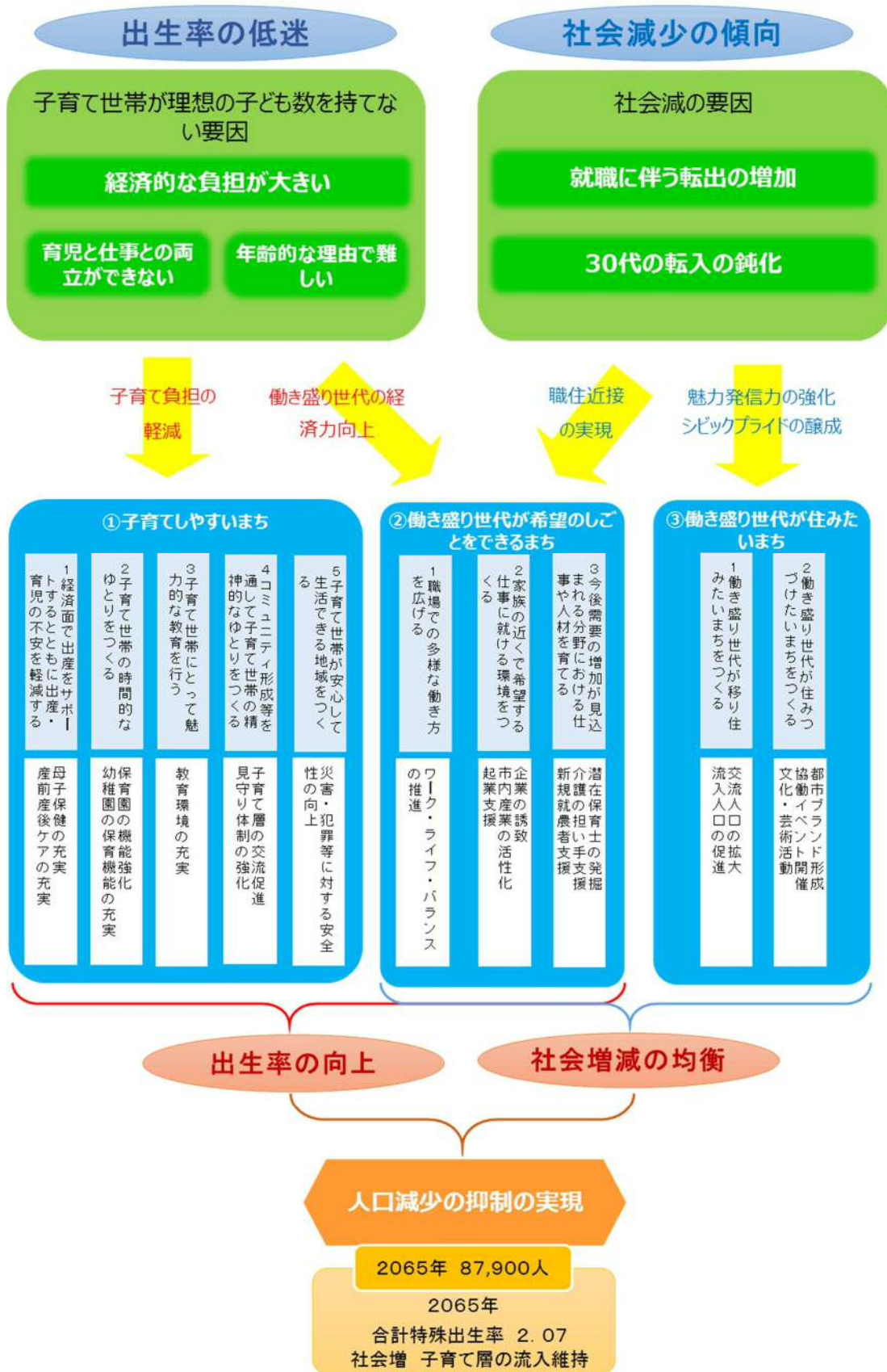
本市における出生率の低迷は、人口減少の抑制に向けて取り組むべき最大の課題です。意識調査の結果を踏まえると、理想の子ども数を持たない最大の要因は「経済的負担」となっており、25～44歳の働き盛り世代の経済的負担を緩和することが、出生率向上に向けた最大の課題と考えられます。経済的負担の緩和には、「子育てに係る負担の軽減」と、「働き盛り世代の経済力の向上を図ること」の両面から支援していく必要があります。

子育てに係る負担軽減については、保育機能の強化や母子保健の充実、医療費助成の継続等により、子育てしやすい環境を整備することが考えられます。また、働き盛り世代の経済力の向上については、市内産業の活性化を図りつつ、テレワークや在宅勤務などワーク・ライフ・バランスを考慮した多様な勤務形態を推進することで、働き盛り世代の市内従業の拡大を図るとともに、働き盛り世代の女性が自ら起業できるような環境を整備し、職住近接による働き盛り世代の就労支援を図ることが考えられます。これら両面から働き盛り世代を経済的に支援し、不安を解消していくことで、子育て世帯が理想の子ども数を実現できる環境が整い、出生率の向上に繋がると見込まれます。

また、30代の転入の鈍化や20代前半の就職に伴う転出の増加など、人口の社会移動が低迷してきていることが、もう一つの課題です。

課題克服にあたっては、子育て環境の整備と女性の就業率を向上させることによって、働き盛り世代の女性が子育てと仕事を両立しながら家庭と社会の両方で活躍できるまちを実現し、女性の定住促進に繋げることが考えられます。また、教育環境の充実や文化・芸術活動を活性化することで、働き盛り世代にとって魅力的なまちづくりを進め、子育て世帯だけでなく広く働き盛り世代にとってニーズを満たす環境が整ったまちであることを、近隣都市を中心にPRし、本市の認知度や都市ブランド力を高め、さらなる情報発信力の強化を図ることによって、大阪や京都などに居住する働き盛り世代の転入増加に繋げることが考えられます。加えて、市に愛着を持ってもらう取組を進めることで、副次的な効果として、職を求めて市外へ転出する20～24歳を中心とした若年層や高齢者などの子育て世代以外の転出抑制にも繋がることも見込まれます。定住促進と転入増加を図っていくことで、社会移動の均衡を維持していくことが期待できます。

(2) 取組の方向性



第3章 基本目標

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の政策構成及び本市の人口展望に見る取組の方向性を踏まえつつ、出生率向上施策と25～44歳の働き盛り世代の社会増につながる施策への取組が人口減少に歯止めをかける上で効果的であること、また、本市の女性は優れた知識や技能を持った方が多く居住しているながらも就業率が低く、その高いポテンシャルを活かしきれていないこと等から、本市の総合戦略では、子育て世帯を主なターゲットとしつつ、働き盛り世代に焦点をあて、以下の3つの「基本目標」に示す将来像を展望して、具体的な施策を着実に進めていきます。

基本目標1 子育てしやすいまち

目指す将来像	▶ 多様な保育サービスの利用や、コミュニティでの支えあいの中で子育て世帯が不安なく希望の子どもの数を持って、ゆとりを持って生活（子育て）している。
数値目標	合計特殊出生率
	子育て世帯の住みやすさの満足度

基本目標2 働き盛り世代が希望のしごとをできるまち

目指す将来像	▶ ワーク・ライフ・バランスに関する取組が進み、働き盛り世代が多様な働き方を選択しているとともに、しごとを自ら起業するなど家族の近くで希望のしごとができている。
数値目標	市内従業者数
	新規起業数

基本目標3 働き盛り世代が住みたいまち

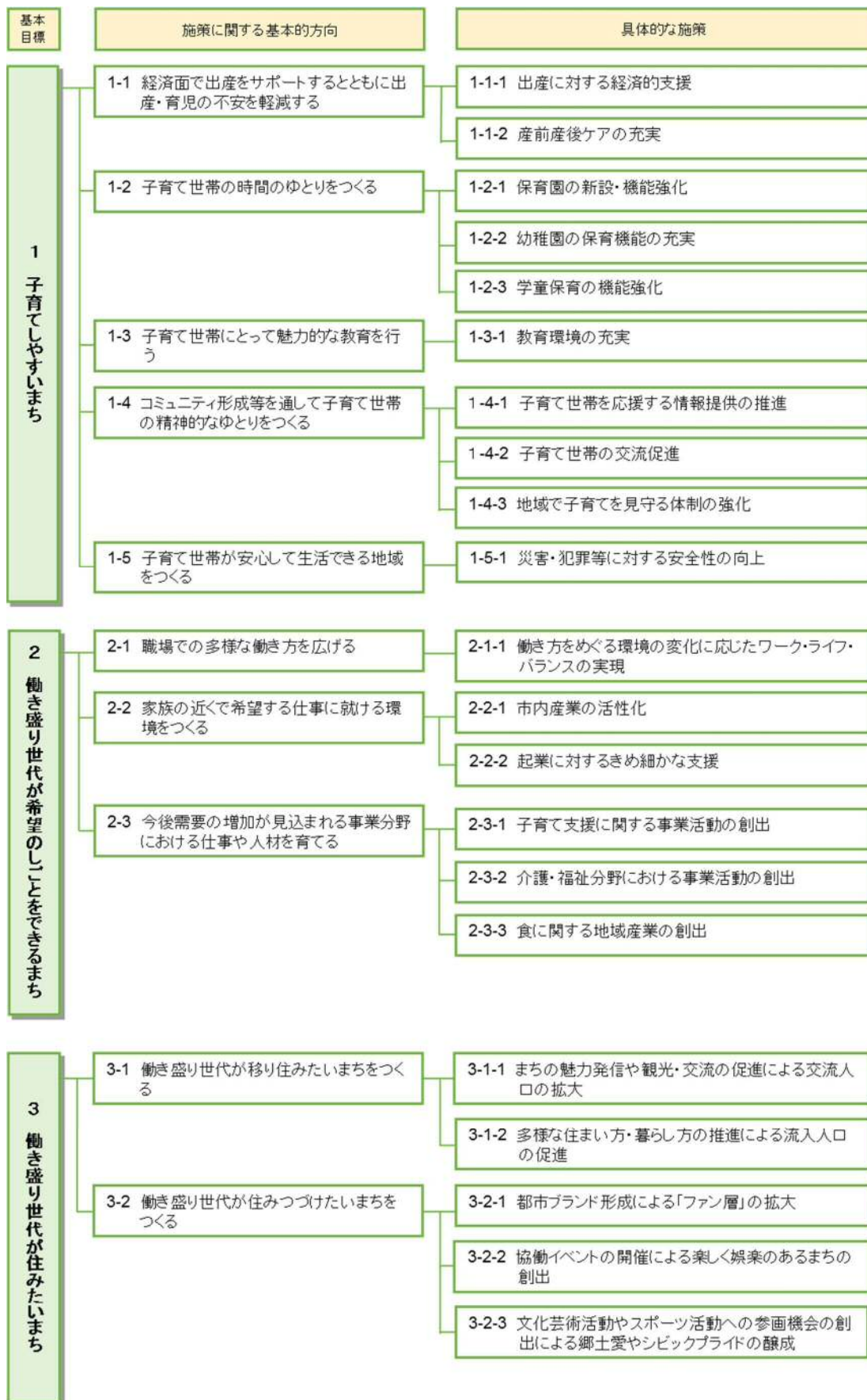
目指す将来像	▶ 働き盛り世代にとって魅力的なイベントが企画、開催されるなど、まちの魅力の発信力が強化され、本市の都市ブランド力が向上しているとともに、その魅力に惹かれて市外から働き盛り世代が新たに市に流入してきている。また、市内においても、あらゆる世代にシビックプライドが醸成され定住促進が進んでいる。
数値目標	25～29歳の社会移動数
	30～44歳の社会移動数
	働き盛り世代の定住意向「ずっと住みつづけたい」の割合

総合戦略において実現を目指すまちの姿

『働き盛り世代が多様な働き方を選択でき、安心して2人目、3人目の子どもを産み、育てられるまち』

上記のとおり総合戦略では、子育て世帯を主なターゲットとし、子育てしやすいまちを目指しながら、働き盛り世代に焦点をあて、希望のしごとができるまちや住みたいまちを目指しており、本市においては、計画期間中、『働き盛り世代が多様な働き方を選択でき、安心して2人目、3人目の子どもを産み、育てられるまち』の実現を目指して「まち・ひと・しごと創生」に取り組んでいきます。

第4章 総合戦略の施策体系



第5章 基本目標に基づく施策

具体的な事業・取組における体裁の変更点

第1期生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略においても、基本目標に基づく施策に紐付けた、具体的な事業・取組ごとに重要業績評価指標（K P I :Key Performance Indicator）を設けていました。第2期生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略においては、K P I の性質をさらに明確にするため、行政の活動に基づく産出物を示すアウトプット指標、活動に基づく成果を示すアウトカム指標を併記することとし、具体的な事業・取組の体裁を以下のとおりとします。

具体的な事業・取組		主担当課		
具体的な事業・取組名		SDGs アイコン	主な担当課名	
取組内容				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	アウトプット指標名		アウトカム指標名	
	現状値 (H30)	現状値	現状値 (H30)	現状値
	目標値 (R6)	目標値	目標値 (R6)	目標値

また、令和元年7月1日に、生駒市が「SDGs 未来都市」に選定されたことを踏まえ、今後はSDGsを達成するために「環境モデル都市」としての取組をさらに発展させ、様々な課題と向き合う地域モデルの実現を目指す必要があることから、SDGsの視点を第2期生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略にも反映します。

このことから、具体的な事業・取組ごとに、関連するSDGsの17のゴールを示すアイコンを付すこととします。



<目指す将来像>

- 多様な保育サービスの利用や、コミュニティでの支えあいの中で子育て世帯が不安なく希望の子ども数を持って、ゆとりを持って生活（子育て）している。

<数値目標>

目標指標	単位	現状値(H30)	目標値(R6)
合計特殊出生率(※1)	人		
目標指標	単位	現状値(H30)	目標値(R6)
子育て世帯の住みやすさの満足度(※2)	点		

※1 翌年1月1日現在の住民基本台帳をもとに市で独自に算出。

※2 市民満足度調査による「総合的な住みやすさの満足度」を7点満点で評価したもの。4点で普通と評価。就学前の子ども、小学校・中学校の子どもを持つ回答者の平均値。

<施策に関する基本的方向>

1-1 経済面で出産をサポートするとともに出産・育児の不安を軽減する

経済的な負担や子育ての不安を理由に、出産・子育てを躊躇している世帯に対して、経済的な負担や出産・育児の不安の軽減を目指します。

1-2 子育て世帯の時間のゆとりをつくる

現在の保育・幼児教育、学童保育に関する機能を充実することによって、市内の子育て世帯の時間のゆとりをつくります。

1-3 子育て世帯にとって魅力的な教育を行う

外国語学習やICT機器を積極的に活用した教育を行うことで、未来を見据えた確かな学力を育むとともに、心の教育を充実させるなど地域力を生かした魅力的な教育を行います。

1-4 コミュニティ形成等を通して子育て世帯の精神的なゆとりをつくる

市外からの転入が多い生駒市において、コミュニティの中での子育て世帯相互の仲間づくりを支援することにより、悩み相談や相互の見守りができるような関係づくりを促し、子育て世帯が参加しやすい地域活動、子育て世帯同士が子育てと社会参加を互いに協力しあえるような仕組みをつくり、精神的な負担の軽減を目指します。

1-5 子育て世帯が安心して生活できる地域をつくる


災害や犯罪に対して不安に感じることなく暮らすことができる地域づくりを進めることにより、子育て世帯が安心して生活できる地域環境の整備を目指します。


1-1 経済面で出産をサポートするとともに出産・育児の不安を軽減する

1-1-1：出産に対する経済的支援

全国的に若年層を中心に経済的な自立に不安を感じる人が増える中、生駒市においても出産・育児・教育等、子育てに必要な費用に対する不安を理由に、2人目、3人目の出産を躊躇する世帯が多くなっています。

そのため、子育て世帯の経済的負担の軽減として、出産に関する医療費の助成や母子保健の充実に取り組み、不安を軽減することで、ひとりでも多くの子どもの出産に繋がります。

具体的な事業・取組①		主担当課		
不育症治療費及び一般不妊治療費助成				
		健康課		
子どもを望む夫婦の出産に関する経済的な負担を軽減するため、不育症治療費や一般不妊治療費に対する助成を行います。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	不育症治療費及び一般不妊治療費助成に係る相談件数		不育症治療費助成支給件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	不育症治療費及び一般不妊治療費助成に係る広報件数		一般不妊治療費助成支給件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
目標値 (R6)		目標値 (R6)		

具体的な事業・取組②	主担当課
母子保健の充実 	健康課


健やかな妊娠・出産を迎えるため、妊婦一般健康診査の費用助成を行います。
 また、疾病の早期発見・治療、障がいの早期発見、育児支援等のため、乳幼児健康診査・訪問指導・育児教室・子育て相談などを行います。


重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	乳幼児健康診査の受診勧奨回数		乳幼児健診受診率	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

1-1-2：産前産後ケアの充実

核家族化の進行や家族関係の多様化などにより、産褥期に家族等からのサポートが受けられず、産婦の身体的・精神的な負担が増加し、さらに生まれてきた児にも十分なケアが行われない状況が増えてきています。

そこで、妊娠・出産・育児に関する様々な悩みに対応し、必要な情報提供・助言・保健指導を行うことで、産婦の心身の安定と育児不安を解消し、安心して産み育てられる環境を整えます。

具体的な事業・取組①		主担当課		
マタニティコンシェルジュの配置				
		健康課		
<p>妊娠・出産・育児に関する様々な不安解消のため、専門職であるマタニティコンシェルジュを配置し、母子保健手帳交付時からの全妊婦との面接、ケアプランの作成、各種サービスの案内など、産婦を細やかにサポートします。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	産科医療機関への周知件数		マタニティコンシェルジュへの相談件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	


具体的な事業・取組②		主担当課		
産後サポートの充実				
		健康課		
<p>産後の心身の安定と育児不安を解消するため、各種育児相談に応じるほか、産婦・新生児や乳児訪問、家庭訪問を実施します。また、健康づくりリーダー等が、妊産婦や子育て中の保護者の相談相手やサポート役になります。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	新生児・乳児訪問の実施率		相談件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	


1-2 子育て世帯の時間のゆとりをつくる


1-2-1：保育園の新設・機能強化

市内でも多くの保育園が運営されていますが、恒常的に発生する保育需要により、待機児童の解消を継続することは難しく、子育て世帯の負担に繋がっている状況にあります。また、幼児教育・保育の無償化に伴い、保育需要はさらに増加することが予想されます。

そのため、未就学児を育てる市内の子育て世帯に対して、充実した保育機能を提供することにより、子育てと仕事や趣味等の両立等の支援を行い、子育て世帯の時間のゆとりをつくります。


具体的な事業・取組①		主担当課		
保育所の整備				
		こども課		
増加する保育需要に対応するため、従来の保育所の整備に加え、小規模保育事業や 市内企業への働きかけによる 企業主導型保育事業を推進し、待機児童の多い地域を中心にその解消等に取り組みます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	保育所の整備による保育所利用定員数		実質待機児童数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

具体的な事業・取組②		主担当課		
保育士の確保				
		こども課		
増加する保育需要に対応し利用定員の増加につなげるため、 県と連携し 、柔軟な働き方や待遇改善を進めながら潜在保育士の雇用を促し、待機児童の解消に取り組みます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	新たに雇用された保育士数		実質待機児童数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	保育士確保による保育所利用定員数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			

具体的な事業・取組③		主担当課
保育コンシェルジュの活用		こども課

増加する保育需要に対応し利用定員の増加につなげるため、保育コンシェルジュを配置し、保育の需要と供給のミスマッチを解消することで、待機児童の解消に取り組みます。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	保育コンシェルジュ相談件数		単純待機児童数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

具体的な事業・取組④		主担当課
一時預かり保育等保育サービスの充実		こども課

働き方が多様化することに伴う、保育サービスのニーズの多様化に対応するため、保育所において、延長保育や一時預かり保育、休日保育、病児・病後児保育等を実施します。また、時代に応じた保育ニーズの変化を把握し、さらなる保育サービスの充実に向けた検討を行います。


重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	一時預かり保育の利用児童数		保育サービスに対する満足度 (※)	
	現状値 (H30)		現状値 (H29)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	休日保育利用児童数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			
	病児・病後児保育利用児童数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			


※市民満足度調査による

1-2-2：幼稚園の保育機能の充実

幼稚園における子ども教育に対するニーズが存在する一方で、少子化が進み、就労形態が多様化することにより、保育需要が高まり、標準教育時間が短い幼稚園にも長時間の保育が求められています。

このことから、幼稚園での預かり保育などの保育サービスをさらに充実させ、こども園化を含めた幼児教育と保育機能の一体化などを推進し、子育て世帯が利用しやすい幼稚園の仕組みを整えることで、子育て世帯の時間のゆとりをつくります。


具体的な事業・取組①		主担当課		
幼稚園での預かり保育の拡充				
		こども課		
多様化する保育需要に対応するため、市立幼稚園における預かり保育を実施するとともに、長時間化や実施日の拡大を検討します。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	預かり保育実施園数		預かり保育利用園児数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

具体的な事業・取組②		主担当課		
幼稚園における幼保一体化の推進（幼稚園への保育機能の強化）				
		こども課		
幼稚園において、多様化する保育需要に対応した保育機能を充実するため、幼稚園と保育所の連携を深めながら、地域での幼稚園ニーズや園児数の推移等を勘案した、認定こども園の整備を進めます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	幼稚園と保育所との連携事業数		認定こども園数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

1-2-3 : 学童保育の機能強化

共働き世帯やひとり親家庭にとって、仕事と子育てを両立させるためには、子どもが小学校へ就学した後においても保育サービスの充実が欠かせません。

こういったニーズに対応するため、学童保育についても、快適な保育環境を確保し、指導員の確保や民間保育事業者も含めた運営体制を充実させる取組を進めることで、子育て世帯の時間のゆとりをつくります。

具体的な事業・取組①		主担当課		
学童保育の充実				
		こども課		
<p>増加する保育需要に従い増加する学童需要に対応するため、学童保育環境の改善を図るとともに、柔軟な働き方や待遇改善を進めながら学童指導員の確保に取り組みます。また、民間保育事業者における学童事業を推進します。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	新たに雇用された学童指導員の数		学童保育施設の満足度（※）	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	
	学童保育施設の児童一人当たり有効面積			
	現状値（H30）			
	目標値（R6）			
	民間保育事業者による学童保育実施箇所数			
	現状値（H30）			
	目標値（R6）			


※市民満足度調査による


1-3 子育て世帯にとって魅力的な教育を行う

1-3-1 : 教育環境の充実

子育て世帯の高い教育ニーズに対応するため、児童生徒一人ひとりが「生きる力」のひとつである確かな学力を身につけるよう、主体的・対話的で深い学びを充実し、プログラミング的思考を身につけることを目的として、ICT機器を活用した授業や体験活動の充実、英語の基礎的な力やコミュニケーション能力育成に取り組めます。


また、自分の夢に向かって生き生きと活動し、自己有用感を持って、将来、社会で活躍できる人材の育成に努めていくため、新しいチャレンジを促し、成功体験による自信を得るとともに、失敗した場合でもフォローすることで再挑戦を促す機会を確保できるよう支援します。

具体的な事業・取組①		主担当課		
ICTを活用した教育の推進				
<p>分かりやすい授業を実施し、児童生徒が主体的・協働的に学習できる環境を整え、確かな学力を育成するために、ICT機器を積極的かつ効果的に活用した授業を行います。また、小学生からのプログラミング教育の必修化に対応した取り組みを進め、奈良先端科学技術大学院大学や奈良工業高等専門学校との連携を進めます。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	プログラミング教育授業数		プログラミング教育が好きと答えた生徒の割合	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	奈良先端科学技術大学院大学や奈良工業高等専門学校との連携授業数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			

具体的な事業・取組②		主担当課
英語教育の推進		教育指導課

小学校で英語の基礎的な力を身につけ、コミュニケーション能力の育成を図るため、小中9年間を見通したカリキュラムを作成したうえで、ALTの配置や、小学校1年生から市独自の教材を使用する等、子どもの興味関心を引くよう工夫しながら、小学校のすべての学年で英語教育に取り組みます。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	ALTによる英語授業時間数		英語が好きと答えた生徒の割合	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

具体的な事業・取組③		主担当課
夢を与える講演会・学校創造推進事業		教育指導課


自分の夢に向かって生き生きと活動し、自己有用感を持って、将来、社会で活躍できる人材の育成に努めていくため、**市民や市出身者をはじめとする**各界で活躍する方（経営者、政治家、スポーツ、文化人ほか）を招き、子どもたちが優先して参加できる、夢を与える講演会を実施するなど、特色ある教育活動を実施します。また、子どもたちが、失敗を恐れず、新しいチャレンジに挑戦できる機会を確保できるよう支援します。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	学校創造推進事業の実施回数		自分にはいいところがあると思う児童生徒の割合（※）	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	生駒こどもチャレンジ補助件数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			

1-4 コミュニティ形成等を通して子育て世帯の精神的なゆとりをつくる

1-4-1：子育て世帯を応援する情報提供の推進


子育てに関する情報は市ホームページをはじめとして様々な箇所に掲載されていますが、NPO等の民間が発信している情報も多くある中、それらの情報へのアクセシビリティは十分とは言えません。そのため、妊娠から出産、子育てに役立つ多様な行政制度やサービス等に関する情報等について、広報いこまちや市ホームページだけでなく、SNSやインターネットを活用したメディアなども利用し、情報へのアクセシビリティを高め、情報収集に関する負担の低減を行うことで、子育て世帯の精神的負担の軽減に繋がります。


具体的な事業・取組①		担当課		
子育て世帯向けの多様な情報発信 		こども課 子育て支援総合センター 健康課 いこまの魅力創造課 広報広聴課		
子育て世帯が子育てに関する情報を簡単に取得できるよう、妊娠・出産・子育てに関する知識・技能を修得するための機会や情報を提供すべく講座を開催するとともに、乳幼児の予防接種や定期健診等のスケジュールなど、電子母子手帳やオープンデータを活用した多様なツールを利用して情報の発信に取り組めます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	発信・共有するツール数		市ホームページの子育て関連ページへのアクセス件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	電子母子手帳利用者数		Twitter フォロワー数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
目標値 (R6)		目標値 (R6)		

1-4-2：子育て世帯の交流促進

近年、特に母親が孤独な子育てによる悩みや不安を抱え込み、育児放棄や虐待等が社会問題化しています。また、市外からの転入が多い生駒では、地域コミュニティが希薄化しやすく、母親同士のネットワークが形成されにくい懸念があります。

市内でそのような状況とならないよう、子育て世帯が気軽に子育てに関する悩み等について話しあえる場や機会をつくることで、子育て世帯同士の交流を促し、子育て世帯の精神的負担の軽減に繋がります。

具体的な事業・取組①		主担当課	
子育て世帯同士の学び・交流支援			
		子育て支援総合センター こども課	
<p>子育て世帯の孤立を防ぐため、子育て支援総合センターを中心とした子育て相談や育児教室の開催、子育てサロン、幼稚園・保育所で未就学児や保護者が遊び集える場を提供する子育て広場など、子育て世帯同士の学び・交流の機会を充実し、地域で子育てを支え合う取組や活動を支援します。また、地域と連携し、地域内で子育て世帯が交流できる場を設けます。</p>			
重要業績評価指標名	アウトプット指標	アウトカム指標	
	市直営拠点（みっきランド・はばたきみっき）利用者数	地域子育て支援拠点の利用者数	
	現状値（H30）	現状値（H30）	
	目標値（R6）	目標値（R6）	
	子育て広場の利用者数	交流会参加者数	
	現状値（H30）	現状値（H30）	
	目標値（R6）	目標値（R6）	


具体的な事業・取組②		主担当課	
パパのための子育てイベントの開催			
		子育て支援総合センター	
<p>男性の育児への積極的な参加を促すため、保育所や幼稚園、認定こども園、学校等と連携し、父親が主体となった子育て交流イベントを開催します。</p>			
重要業績評価指標名	アウトプット指標	アウトカム指標	
	子育てイベントへの男性の参加者数	男性の平日の育児・家事労働時間「全くしない」人の割合（※）	
	現状値（H30）	現状値（H30）	
	目標値（R6）	目標値（R6）	


※市民満足度調査による

1-4-3：地域で子育てを見守る体制の強化

近年、子どもが自宅近くで犯罪や事故に巻き込まれるケースが多く見受けられます。その対応としては、コミュニティ全体で地域の子どもたちを見守るような取組が有効であると考えられますが、市外からの転入が多い生駒では、地域コミュニティが希薄化しやすく、そのようなコミュニティ活動に繋がりにくい懸念があります。

そのため、父親・母親に加えて学校・団体・地域等が地域の子育てに積極的に協力し、地域全体で子どもの健やかな成長を見守る体制づくりを支援します。地域での見守り体制の構築により、児童虐待防止や子どもの犯罪被害防止に努め、子育て世帯の精神的負担の軽減に繋がります。

具体的な事業・取組①		主担当課		
地域・行政・周囲のひとによる子育ての見守り強化				
		子育て支援総合センター健康課		
子育て世帯の孤立化を防ぎ、子どもたちが安心して成長できるよう、乳幼児を持つ家庭への訪問による見守り、相談等を実施し、虐待等の未然防止に努めるとともに、家庭、保育機関、学校、地域等が連携して子どもの人権や安全を守る意識を育てます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	新生児・乳児訪問の実施率		生駒市要保護児童対策地域協議会に報告された件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	CAP講習会の開催		マタニティコンシェルジュへの相談件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

具体的な事業・取組②		主担当課		
ファミリーサポート事業の利用促進				
		子育て支援総合センター		
子育て世帯の孤立化を防ぎ、子どもたちが安心して成長できるよう、ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	ファミリーサポート事業の依頼会員数		ファミリーサポートの利用件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	


1-5 子育て世帯が安心して生活できる地域をつくる

1-5-1：災害・犯罪等に対する安全性の向上

東日本大震災を契機とした防災への意識の高まりや、子どもの犯罪被害の増加による防犯への意識の高まりに配慮したまちづくりが社会的に求められています。


そのため、大規模災害から市民の生命・財産を守り、被害を最小限にとどめるため、災害発生時に迅速に避難できるような避難体制を整えます。

また、地域の防災や防犯、交通事故被害防止に配慮したまちづくりを通じて、安全・安心な子育て環境の整備を図ることで、子育て世帯が安心して生活できる地域をつくります。


具体的な事業・取組①		主担当課	
指定避難所への防災備蓄			
		防災安全課	
災害時における住民の防災力を強化し、自主防災活動を活性化するため、災害用備蓄倉庫（コンテナ）を備えていない指定避難所における資機材整備を進めます。			

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	災害用備蓄倉庫設置箇所数		消防署・避難所などの防災施設の満足度（※）	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	

※市民満足度調査による


具体的な事業・取組②		主担当課	
自主防災会の活動支援・促進			
		防災安全課	
自主防災活動を活性化するため、自主防災会の結成を促すとともに、自主防災組織間のつながりや協力体制の強化を平時から進め、小学校区単位での防災訓練の実施や、 市民団体等への地域の防災士と連携した 防災訓練の支援を行うことで地域の防災力を強化します。			

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	学校区単位での防災訓練の実施回数		自主防災組織の組織率	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	

具体的な事業・取組③	主担当課
自主防犯活動支援・促進 	防災安全課

犯罪の起こりにくい明るいまちを築いていくため、地域の安全は地域で守るという自主防犯意識の高揚や地域によるパトロール等の防犯活動など、地域による自主防犯活動を支援します。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	防犯カメラ設置基数		刑法犯罪認知件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	防犯活動用品貸出団体数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			

具体的な事業・取組④	主担当課
通学路安全対策 	教育総務課 防災安全課 管理課 事業計画課 土木課

子どもの交通事故を防ぐため、「生駒市通学路交通安全プログラム」及び国の「登下校防犯プラン」に基づき、関係機関と連携して、各小学校の通学路の合同点検を実施し、安全に安心して通学ができる環境整備を進めます。また、**市民の協力による**「子ども110番の家」の設置を推進し、子どもが犯罪に巻き込まれないよう地域で子どもを守ります。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	通学路の点検箇所数		交通事故（人身）の発生件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	「子ども110番の家」設置件数			
	現状値 (H30)			
目標値 (R6)				

<目指す将来像>

- ワーク・ライフ・バランスに関する取組が進み、働き盛り世代が多様な働き方を選択しているとともに、しごとを自ら起業するなど家族の近くで希望のしごとができている。

<数値目標>

目標指標	単位	現状値(H30)	目標値(R6)
市内従業者数(※1)	人		
目標指標	単位	現状値(H30)	目標値(R6)
新規起業数(※2)	件		

※1 経済センサスによる人数

※2 生駒市起業支援融資制度を利用して起業した件数

<施策に関する基本的方向>

2-1 職場での多様な働き方を広げる

女性が出産を経ても継続的かつ柔軟に働くことができるとともに、男性も積極的に子育てに参画する等、男女それぞれが、仕事と家庭の良好なバランスをとりながら働けるような職場環境づくりを目指します。

2-2 家族の近くで希望する仕事に就ける環境をつくる

市内での雇用を生み出す事業活動を拡大するための支援や、新たな企業誘致により、市内で働きやすい雇用を創出するとともに、企業に雇用される枠組みにとらわれずに、母親が多様な人的ネットワークを活かしながら、自分のスキルを發揮できる新たなビジネスを自ら立ち上げられる（スモールビジネス）環境づくりを目指します。

2-3 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

子育てや介護、福祉といった公益性の高い事業や、地元農産品の地域内消費の促進など、市内での経済循環を生み出す事業活動の拡大を支援し、そのサービス提供に必要な専門知識や技能、経営ノウハウなどを身につける人材の育成を目指すとともに、既に資格や技能をもっている人材を掘り起こします。


2-1 職場での多様な働き方を広げる

2-1-1：働き方をめぐる環境の変化に応じたワーク・ライフ・バランスの実現


育児と両立できる仕事が見つからないことを理由に、依然として就業をあきらめる女性が多いと考えられます。また、共働き世帯の増加に伴い、男女とも仕事と育児の両立が求められています。

そのため、子育てと仕事の両立の支援として、市内事業所におけるワーク・ライフ・バランスの積極的普及や多様な働き方の推進に努め、男女ともに子育ての状況に応じた就業を支援し、子育て中の女性の就業を後押しするとともに、男性の積極的な子育て参画にも繋がります。

さらに、近年は、定年退職後も働く意志を持つ方が増えていることを踏まえ、高齢者が健康で意欲と能力がある限り年齢に関係なく、生涯現役で働き続けることができる社会の実現に向け、高齢者向けの就労の取組など、多様な人材への就労支援を進めます。


具体的な事業・取組①		主担当課		
ワーク・ライフ・バランスの普及啓発				
		男女共同参画プラザ 商工観光課		
仕事と家庭の両立を促進するため、 商工会議所と連携した 市民や事業者へのワーク・ライフ・バランスについての意識啓発や、市役所や市内事業所を対象に、育児休業等の取得促進、ワーク・ライフ・バランス先進企業等の取組の紹介など、子育てしながら就業しやすい環境づくりを支援します。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	多様な働き方に関するセミナー等参加人数		男性の平日の育児家事労働時間「全くしない」人の割合（※）	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	
			市内のイクボス宣言事業者数	
			現状値（H30）	
		目標値（R6）		

※市民満足度調査による

具体的な事業・取組②		主担当課
テレワークの推進		商工観光課

ワーク・ライフ・バランスの実現や子育て世帯の女性の就業機会を拡大するため、テレワークの導入支援やサテライトオフィスの誘致等テレワークの普及促進に取り組みます。


重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	テレワーク利用の営業件数		テレワーク導入件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
		テレワーク施設の利用件数		
		現状値 (H30)		
		目標値 (R6)		

具体的な事業・取組③		主担当課
女性の活躍推進		男女共同参画プラザ 人事課

男女がそれぞれ、個性や能力を発揮した生きがいのある人生をおくれるよう、**事業者と連携し**、家庭や職場、地域社会等における女性の活躍促進に取り組み、それぞれが自分の能力や個性を輝かせ、自分らしく生きることができる社会を目指します。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	市役所における女性管理職員の割合		女性活躍推進に係る市民実感度 (※)	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	市の附属機関等の女性委員の割合		市調査による女性の就業率 (※)	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	多様な働き方に関するセミナー等参加人数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			

※市民満足度調査による

具体的な事業・取組④	主担当課
就労セミナーの開催	 商工観光課

市内企業の安定的な経済活動を支援するとともに、就業意欲のある人を応援し、多様な人材の雇用確保に取り組むため、市内企業との連携により、市内の就職情報を提供できる環境整備や情報の提供・周知を行うこと等により、子育て中の女性やスキルを持った高齢者など多様な人材への就業支援を行います。


重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	就労セミナーの参加者数		本事業参加者の新規就業者数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	ふるさとハローワークにおける求人情報の提供数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			


2-2 家族の近くで希望する仕事に就ける環境をつくる

2-2-1：市内産業の活性化

大阪のベッドタウンとして発展してきた本市では、市外（特に大阪府）へ働きに出る人が多くなっていますが、子育て中の世帯にとって市外に働きに出ることは緊急時の対応等が難しく不安を抱えやすい状況です。

そのため、新たな企業誘致や市内既存事業所の事業拡大や生産性向上に向けた支援に取り組み、新しい雇用先を確保するとともに、市内で働きたい働き盛り世代の就業に繋がります。


具体的な事業・取組①		主担当課		
企業立地の推進				商工観光課
<p>市内で雇用を生み出し、地域経済循環を活性化させるため、県担当課と連携した工業団地周辺の基盤整備や補助、支援制度の展開など、魅力ある創業環境を整え、時代の転換を見据えた新たな企業や研究施設の誘致に取り組みます。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	展示会での誘致 PR 件数		企業立地件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
			新規企業の新規雇用者数	
			現状値 (H30)	
		目標値 (R6)		


具体的な事業・取組②		主担当課		
既存企業の支援				商工観光課
<p>これまで地域を支えてきた既存企業を応援し、新たな事業拡大や雇用創出を支えるため、商工会議所と連携して、既存企業の経営の安定化や販路の拡大について支援し、新たな雇用を生み出します。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	展示会出展支援件数		既存企業の新規雇用者数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

2-2-2：起業に対するきめ細かな支援

市内には、関西圏を中心に多くの子育て世帯が流入してきており、多様なノウハウを持った方が集まっているものと考えられます。家庭と両立しながらそのノウハウを活用していくことが、市内での活発な経済活動に繋がるものと考えられます。

そのため、老若男女を問わず、仕事と家庭の両立や、自己実現のために自ら仕事を起こすような積極的な方に向けて、今後の活動を後押ししてくれるような人材や知識に触れ、新しい活動展開の可能性を考えるような場を提供するとともに、起業や経営に関するノウハウの提供や支援スペースの提供等の支援体制を構築することで、企業への就職にとどまらない積極的なビジネス展開に繋がります。

具体的な事業・取組①		主担当課		
産官学連携による起業希望者等・起業支援者交流会等の実施				
<p>起業意欲のある方によるビジネスの立ち上げを支援するため、パートナーとなる人材とのマッチングや、事業スキームの構築、実際の事業活動の立ち上げを支援する起業支援者との交流会を、産官学が連携して開催します。また、早い段階から多様な働き方に対する意識を醸成するため、小中学生が起業家や企業で活躍する人と触れ合い、未来を描くことができるセミナー等を開催します。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	交流会の参加者数		交流会をきっかけにした起業家数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	


具体的な事業・取組②		主担当課		
起業者を支援する体制づくり及び情報発信				
<p>起業者を考える人や起業間もない人を支援するため、ベルテラスいこまのイベントや起業支援スペースから芽生えた起業意欲のある方に対し、店舗経営のノウハウの継承・指導やチャレンジする機会を設けるなど包括的な起業者の育成支援を実施します。</p> <p>また、そうした支援を効果的に行うための情報発信や起業支援セミナーの開催などを行います。</p>		商工観光課		
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	起業支援セミナー件数		起業支援スペース利用をきっかけにした起業者数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
			起業支援スペース利用件数	
			現状値 (H30)	
		目標値 (R6)		

2-3 今後需要の増加が見込まれる事業分野における仕事や人材を育てる

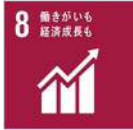
2-3-1：子育て支援に関する事業活動の創出

市民の働き方やニーズの多様化に伴い、保育機能に期待する事柄も多様化しています。市内には、子育て経験を持つ多くの母親がいます。この方々の経験を活用することで、従来よりも使い勝手の良い柔軟な保育機能の確保が期待されます。

そのため、母親の新しい仕事の場として、より身近な子育て支援機能を市内に積極的に展開し、その担い手として市内の母親が活躍できるよう支援し、市内の母親間で子どもを預け、預けられる関係の構築に繋がります。

具体的な事業・取組①			主担当課	
保育士の確保				
			こども課	
増加する保育需要に対応し利用定員の増加につなげるため、 地域人材の活用 、柔軟な働き方や待遇改善を進め ながらることにより 、潜在保育士の雇用を促します。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	潜在保育士発掘のための「資格をいかそう！相談会」参加者数		新たに雇用された保育士数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

具体的な事業・取組②			主担当課	
学童指導員の確保				
			こども課	
増加する保育需要に従い増加する学童需要に対応するため、 地域人材の活用 、柔軟な働き方や待遇改善を進め ながらることにより 、学童指導員の確保に取り組みます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	学童指導員確保のための「資格をいかそう！相談会」参加者数		新たに雇用された学童指導員数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

具体的な事業・取組③		主担当課		
ファミリーサポート事業の利用促進				
		子育て支援総合センター		
<p>市内の母親間で子どもを預け、預けられる関係の構築に繋げるため、ファミリーサポート事業における会員の登録を進め、地域の子育て支援に関わる人材を確保するとともに、会員相互が子どもを預け、預かる関係づくりを行い、より利用しやすい仕組みを整えます。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	ファミリーサポート事業の賛助会員数		ファミリーサポート事業の利用件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

2-3-2：介護・福祉分野における事業活動の創出

高齢化の進展に伴い、市内での介護・福祉に関する需要は今後より一層高まるものと予想されています。また、市民満足度調査では高齢者ほど市内に住み続ける意向が強くなる傾向があります。これらの状況から、高齢者が住みなれた地域で安心して生活できる環境や体制の充実が求められる状況となっています。

そこで、介護・福祉関連の資格取得や身近な介護・福祉施設の整備により、身近に働ける場を提供します。


具体的な事業・取組①		主担当課		
介護関係資格取得費の支援				
		介護保険課		
市内の介護施設等で働く介護人材等の不足を解消するため、資格の取得等にかかる費用の支援等を行うことで 地域人材を活用し 、介護人材不足の解消につなげます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	資格取得を促すための広報回数		資格取得支援を受けた新規就業者数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	


具体的な事業・取組②		主担当課		
地域密着型サービス事業所の整備				
		介護保険課		
住み慣れた自宅や地域での生活を継続できるよう、地域密着型サービス事業所の整備を進めます、新たな事業所で新たな雇用を生み出します。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	地域密着型サービス事業所数		新たな事業所における新規雇用数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

2-3-3：食に関する地域産業の創出

遊休農地の増加や後継者問題等、市内の農業を取り巻く状況はより一層厳しい状況になっています。そのため、市内での就農を促し、そこで生産された農産物を活用した取組を進めることで、市内の農業を守り、農業者、市民及び市が一体となって、生駒らしい稼げる農業を推進します。

そのため、市内で耕作されなくなる農地を保全するため、プロ農業者の育成・確保とともに、頑張るプロ農業者を支援するとともに、食の安全・安心、地産地消や農産物を活かしたブランド化など、農産物の付加価値を高める取組を進めることで農業者の収入を増やし、営農意欲を向上させます。

具体的な事業・取組①		主担当課		
プロ農業者の確保と育成による生産者支援		 農業委員会事務局 農林課		
農業の活性化と農業者の営農意欲を向上させ、プロ農業者を育成するため、農地の積極的な斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等による新規就農者や既存農業者への支援制度を拡充することにより、地域農業の振興に努めます。また、農業に関するノウハウを共有するため、民間事業者や大学等と協議を進めます。				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	就農相談件数		青年新規就農者数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	移動販売参加農業者数		遊休農地活用事業面積	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
目標値 (R6)		目標値 (R6)		

具体的な事業・取組②	主担当課
農作物の販売支援 	農林課

農業者の収入を増やし、営農意欲を向上させるため、小商い農業の推進や、地場野菜等の流通促進、学校給食用食材の利用拡大、農作物のブランド化、6次産業化の促進などに取り組み、プロ農業者だけでなく小商い農業者の販売促進につなげます。

重要業績評価指標名	アウトプット指標アウトカム指標				
	移動販売自治会数			地場野菜等を地元飲食店が使用、事業者が販売している件数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)		
	目標値 (R6)		目標値 (R6)		
	販売促進イベント参加者数				
	現状値 (H30)				
	目標値 (R6)				

<目指す将来像>

- 働き盛り世代にとって魅力的なイベントが企画、開催されるなど、まちの魅力の発信力が強化され、本市の都市ブランド力が向上しているとともに、その魅力に惹かれて市外から働き盛り世代が新たに市に流入してきている。また、市内においても、あらゆる世代にシビックプライドが醸成され定住促進が進んでいる。

<数値目標>

目標指標	単位	現状値(H30)	目標値(R6)
25～29歳の社会移動数(※1)	人		
30～44歳の社会移動数(※1)	人		
働き盛り世代の定住意向「ずっと住みつづけたい」の割合(※2)	%		

※1 「住民基本台帳人口移動報告」(総務省統計局)の1月1日から12月31日までの社会移動数

※2 市民満足度調査による

<施策に関する基本的方向>

3-1 働き盛り世代にとって移り住みたいまちをつくる

仕事と家庭の両立を応援するまちを戦略的に発信し、魅力体感イベントの開催や観光・交流施策、多様な住まい方・暮らし方の推進などにより、働き盛り世代が移り住みたいと感じるまちづくりを進めます。

3-2 働き盛り世代が住みつづけたいまちをつくる


市の「ファン層」を拡大するための取組や、協働イベントの開催、文化芸術活動、スポーツ活動への参画機会を創出することで、シビックプライドを醸成し、働き盛り世代が、まちへの愛着と誇りを持ち、住みつづけたいと思うまちづくりを進めます。

3-1 働き盛り世代が移り住みたいまちをつくる

3-1-1：まちの魅力発信や観光・交流の促進による交流人口の拡大

本市への子育て世帯の転入は、多くは近畿圏、特に大阪府からの流入となっています。しかし、認知度はまだまだ低く、本市への関心度を「未認知層」、「認知層」、「興味関心層」、「転入・定住者層」、「ファン層」の5段階に分類した場合、各層に応じた体系的な取組が求められる中、市外在住者である「未認知層」、「認知層」、「興味関心層」を、市民である「転入・定住者層」、「ファン層」に変えるためには、「未認知層」を解消し、交流人口である「認知層」、「興味関心層」を増加させるための魅力発信やインバウンドを含めた観光・交流を促す取組を継続して行うことが必要です。

また、流入人口である「転入・定住者層」が増える仕組みを構築するため、これまでの転入促進策に加え、今後は、変化するライフスタイルに合わせた、多様な住まい方・暮らし方の推進などにより、U I J ターンを促す取組を進め、働き盛り世代が移り住みたいと思うまちづくりを進めます。

具体的な事業・取組①		主担当課		
いこまの魅力創造事業				
<p>市の認知度を向上させ交流人口を拡大するため、市公式フェイスブック「まんでんいこま」やPRサイト「good cycle ikoma」の運用などにより、市民と協働して市の魅力を継続して発信します。また、魅力体感イベント「IKOMA SUN FESTA」においては、来場する多くの市外在住者に対し、生駒の都市イメージをアピールし共感と推奨を広げます。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	情報接触件数（※）		市公式フェイスブック「まんでんいこま」の「ページいいね」件数	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	
			魅力体感イベント「IKOMA SUN FESTA」における市外来場者のうちイメージ上昇者数	
			現状値（H30）	
		目標値（R6）		

※ 魅力体感イベント参加者数、ポータルサイトの閲覧数、フリーペーパーの配布数の合計


具体的な事業・取組②	主担当課
観光・交流の促進 <div data-bbox="954 210 1090 338" style="float: right; text-align: center;"> </div>	商工観光課
<p>観光関連事業者等と連携して、民間のノウハウや知識を活用しながら観光客受け入れのために必要なサインの整備や着地型観光ツアーの企画を行うとともに、SNS等を活用して国内外に観光情報を発信して魅力のPR等に努め、市内に訪れる観光客数や交流人口の増加を目指します。</p>	


重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	サインの設置基数		観光地の来訪者数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	インバウンド関連セミナー参加者数		宿泊施設数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
			観光ボランティアガイド利用者数	
			現状値 (H30)	
			目標値 (R6)	

3-1-2：多様な住まい方・暮らし方の推進による流入人口の促進

大阪府内の住宅よりも同価格帯で比較的広い住宅を取得できることが本市への転入理由の1つとなっています。しかし、子どもの独立や自らの高齢化を機にその住宅を手放し、空き家となっている住宅も増加しつつあります。良好な住宅ストックを市外から転入を検討している子育て世帯に有効活用してもらうよう支援することが有効です。


そのため、住宅都市として有する豊富な既存の住宅ストックを活用（中古住宅の流通やリフォーム等）できるよう、多様な住まい方・地域での暮らし方を受け入れる基盤・風土づくりに取り組み、若い世帯でも取得しやすい住宅を供給し、さらに、移住の支援をすることで、働き盛り世代の流入に繋がります。

具体的な事業・取組①		主担当課		
空き家の流通促進と住宅のリノベーションの推進				
		都市計画課住宅政策室 都市計画課		
<p>多様な住まい方・暮らし方の受容と理解を図り、空き家の流通促進や良好な中古住宅の活用を奨励するため、空き家流通施策やリノベーション事例の発信を広く効果的に展開し、既存住宅の流通を支援します。また、事業者と一体となって、近居・住み替えニーズの掘り起こしと魅力的な賃貸住宅の供給策を検討するなど、本市にふさわしい土地利用のあり方を考えます。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	空き家流通プラットフォーム取扱件数		市外から空き家への転入世帯数（流通促進奨励金及びプラットフォーム制約件数）	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	
	多様な住まい方・空き家活用関連事業参加者数			
	現状値（H30）			
	目標値（R6）			

具体的な事業・取組②		主担当課
移住支援金の交付		商工観光課

人口の東京一極集中を是正し、地方へのU・I・Jターンを促すため、東京23区在住者又は23区への通勤者が本市に移住した場合、移住支援金を交付します。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	奈良県が広報した件数		移住者数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	

具体的な事業・取組③		主担当課
既存住宅の診断や改修に対する支援による流通促進		建築課

耐震改修やリフォーム、バリアフリー化に関する相談窓口等を設置するとともに、耐震診断・改修に対する支援を行うことにより、既存住宅の流通を促進します。


重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	既存住宅耐震診断補助事業利用件数		市内住宅の耐震化率	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
	改修補助等により耐震化した住宅の件数			
	現状値 (H30)			
	目標値 (R6)			

3-2 働き盛り世代が住みつづけたいまちをつくる


3-2-1：都市ブランド形成による「ファン層」の拡大

本市への関心度「未認知層」、「認知層」、「興味関心層」、「転入・定住者層」、「ファン層」の5段階のうち、「ファン層」を増加させることによって、都市ブランド力を高め、転入・定住者が増える仕組みを構築することが期待されます。

そこで、市民や事業者等と協働して生駒の魅力を発信し、都市イメージを戦略的に発展させながら、働き盛り世代にとって「住みつづけたい」と愛されるようなまちづくりを進めます。


具体的な事業・取組①		主担当課		
いこまの魅力創造事業			いこまの魅力創造課	
<p>「ファン層」を増加させることによって、都市ブランド力を高め、定住者が増える仕組みを構築するため、市民PRチーム「いこまち宣伝部」やPRサイト「good cycle ikoma」の運用、魅力体感イベント「IKOMA SUN FESTA」などとのしかけにより、市の魅力を発見・発掘する中で、まちへの愛情と誇りを深め、シビックプライドを醸成します。また、地域で自分の夢や目標の実現を目指す人や、新しい暮らし方をする人を可視化することで、人がつながり、交流を生むサポートをし、共感と推奨を広げ、生駒らしい都市イメージを形成し、定住者の増加を目指します。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	「いこまち宣伝部」部員数		生駒市に住んでいることに誇りを持っている人の割合（※）	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	
	都市ブランド構築のための庁内事業連携・支援件数		推奨意欲を持つ人の割合（※）	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
目標値（R6）		目標値（R6）		

※ 市民満足度調査による

具体的な事業・取組②	主担当課
地域特性に応じたまちづくり（ミライ会議）	 都市計画課 都市計画課住宅政策室

住宅地の未来を地域住民で考え、地域ならではの価値・魅力を向上させるため、子育てに助けが必要な人々、職住近接の暮らしを求める人々、多世代間の交流を求める人々、住み慣れたまちに住み続けたい人々など、多様な生き方を受け入れるまちへと進化するための取組を進めます。地域ごとに実現を目指すためのきっかけの場（ミライ会議）をつくり、**住民自らが**住宅地のあり方について検討することで、楽しみながら地域課題の解決にもつながる住民主体の取組が始まることを目指します。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	ミライ会議の参加者数		住民主体の取組件数	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	


具体的な事業・取組③	主担当課
ICTやデータを活かしたまちづくり	 いこまの魅力創造課

人口構造の変化に伴う多様な地域課題に対応するため、ICTを活用することで地域の活性化につながるよう、民間のノウハウや知識の導入をはじめ、地域課題解決ワークショップを開催するなど、多様な主体と協創を進めることで、公共サービスやまちの価値を高めることを目指します。

重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	協創連携に向けたイベント参加者数		民間企業等からの相談・提案件数	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	
	地域課題解決ワークショップの参加者数			
	現状値（H30）			
	目標値（R6）			

3-2-2 : 協働イベントの開催による楽しく娛樂のあるまちの創出


市民、市民団体、事業者、行政等の協働による多様な交流イベント等の開催により、楽しい、娛樂のあるまちづくりを実現します。また、イベントの主体同士がさらにネットワークを広げ、新たな活動の発展につながるような仕掛けを検討します。

具体的な事業・取組①		主担当課		
イコマニア・イベントの実施			市民活動推進課	
<p>市民生活に活力を生み出し、イベントを通じて人的ネットワークが拡大し地域力を向上させるため、再主催や市民・団体との協働で行われる楽しい公共・公益イベントについて、「イコマニア・イベント」として認定し、情報発信することで、楽しく、娛樂のあるまちづくりを実現します。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	イコマニア開催回数		参画と協働の事業数	
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	


3-2-3：文化芸術活動やスポーツ活動への参画機会の創出による郷土愛やシビックプライドの醸成

生駒市では、小学校のブラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめとする音楽活動が非常に盛んに行われています。一方で、周囲への配慮から、特に小さな子を持つ子育て世帯はコンサート等に足を運びにくい状況があります。そのため、子ども連れでも安心して文化芸術活動に参加できるようなイベントを市民団体と協働で開催するなど、だれもが文化芸術活動に触れ合える機会を創出します。

また、近年子どもたちの運動機会が減少し、体力が低下していることから、地域のスポーツ活動を活発化し、子どもを対象としたスポーツイベントの開催や市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを開催するなど、子どもたちを中心にスポーツをするきっかけとなる機会を創出します。

具体的な事業・取組①		主担当課		
文化芸術活動への参画機会の創出			生涯学習課	
<p>小学校のブラスバンドや中学校の吹奏楽をはじめ、本市は音楽活動が非常に盛んであることから、地域の音楽活動を更に広げるため、市民自らが企画・提案し創り上げる音楽会や、子育て世帯が親子で参加できる音楽会を開催するなど、子育て世帯をはじめとした文化芸術活動への参加を促進するとともに若い芸術家を応援します。</p>				
重要業績評価指標名	アウトプット指標		アウトカム指標	
	市民みんなで創る音楽祭の参加者数		文化芸術事業の満足度（※）	
	現状値（H30）		現状値（H30）	
	目標値（R6）		目標値（R6）	
	0歳から楽しめるファミリーコンサートの参加者数			
	現状値（H30）			
	目標値（R6）			
	生涯学習施設における文化芸術活動の参加者数			
	現状値（H30）			
	目標値（R6）			

※市民満足度調査による

具体的な事業・取組②	主担当課
トップアスリートと市内総合型地域スポーツクラブ、市の連携事業の開催 	スポーツ振興課

だれもが身近にスポーツを楽しめるよう、地域スポーツの中心的な存在として活躍が期待されている総合型地域スポーツクラブの活動内容等の周知啓発を行うとともに、~~クラブ運営や新規クラブ設立に関する助言や施設利用・広報等における支援を行い、安定したクラブ運営となるようサポートします。~~と連携して、個々のライフスタイルに応じた、スポーツを楽しめる場をつくります。また、市内スポーツ施設を活用したトップアスリートと触れ合えるスポーツイベントを積極的に開催します。

重要業績評価指標名	アウトプット指標	アウトカム指標		
	市、総合型地域スポーツクラブ、体育施設指定管理者等のスポーツイベントの参加者数	総合型地域スポーツクラブの会員数		
	現状値 (H30)		現状値 (H30)	
	目標値 (R6)		目標値 (R6)	
			総合型地域スポーツクラブ設立数	
			現状値 (H30)	
			目標値 (R6)	